



2024年3月期 通期 決算説明資料

株式会社イントラスト

証券コード：7191

1

2024年3月期 業績

2

2025年3月期 会社計画

3

会社情報

1

2024年3月期 業績

2

2025年3月期 会社計画

3

会社情報

業績の概要

- 売上高ならびに各利益が過去最高を更新
- 売上は前年比 **138.2%**、営業利益は前年比 **127.5%**
- 第2次中期経営計画（売上80億・営業利益20億）を大幅に上回る

売上高

8,971百万円
(前年比138.2%)

営業利益

2,073百万円
(前年比127.5%)

当期純利益

1,227百万円
(前年比122.1%)

配当

18.0円
(前年+4.0円)

時価総額

196億円
※3月末終値ベース

EPS

54.8円
(前年+9.9円)

業績の概要

- 家賃債務保証の成長が寄与し、売上・利益ともに増収増益
- 保証事業の成長に伴い業務委託手数料や貸倒・保証履行費用が増加、営業利益は23%を推移

(百万円)

	2023/3 実績	2024/3 実績	前年比
売上高	6,491	8,971	138.2%
営業利益	1,627	2,073	127.5%
(利益率)	25.1%	23.1%	-
経常利益	1,625	2,070	127.4%
(利益率)	25.0%	23.1%	-
純利益	1,005	1,227	122.1%
(利益率)	15.5%	13.7%	-

売上高は前年比 **138.2%**

営業利益は前年比 **127.5%**と好調

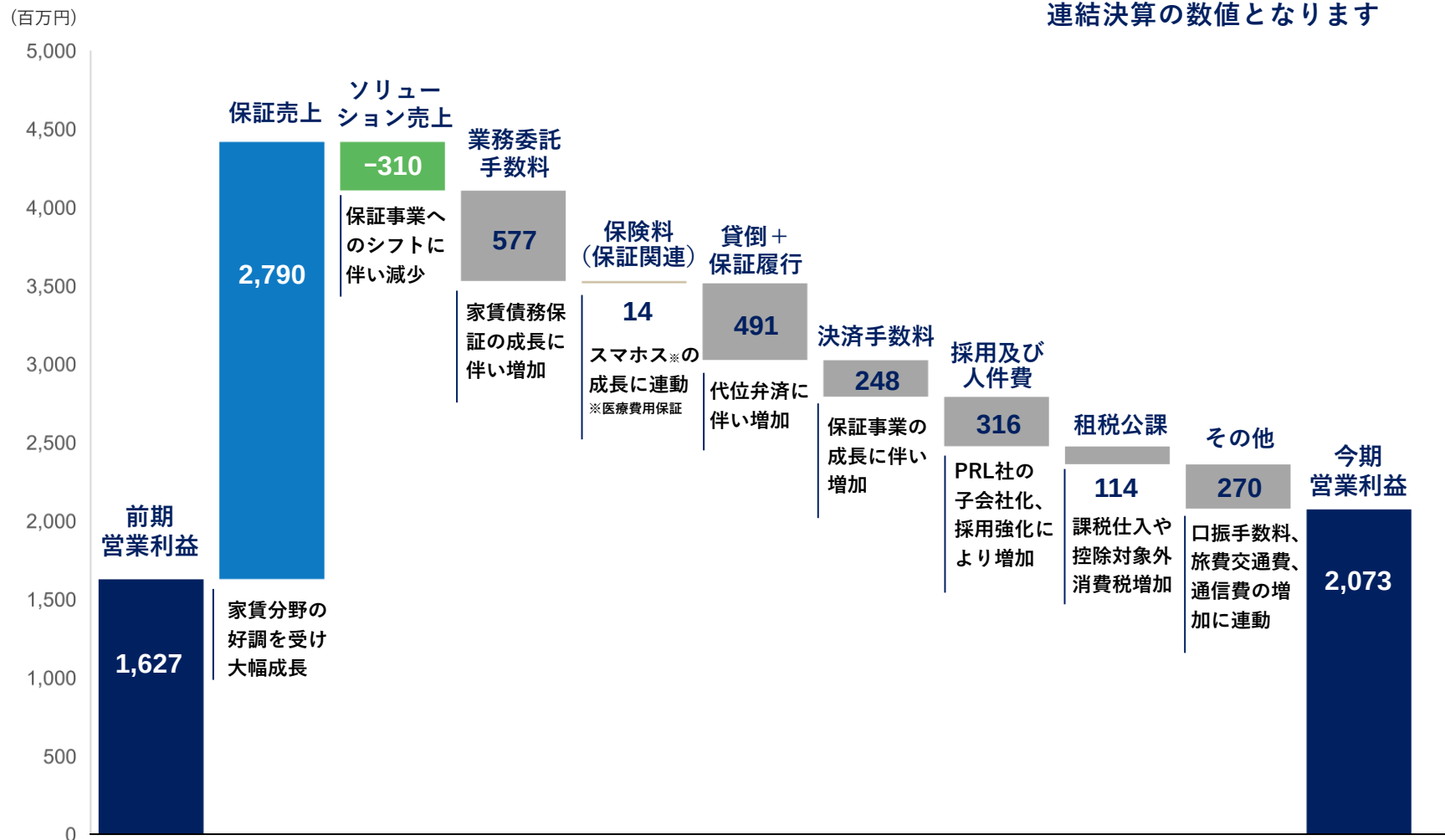
- 家賃債務保証の成長が貢献し、初回・更新保証料共に大きく成長（前年比161.1%）
- 家賃債務保証の成長に伴い、代位弁済や家賃収納決済コストが連動して増加
- プレミアライフ社（以下、PRL社）下期は黒字で着地

※2024年3月期以降はPRL社との
連結決算の数値となります

営業利益の増減分析

- 保証売上の増収が寄与し、関連費用(業務委託手数料、貸倒関連、決済手数料)が増加するも、吸収し営業利益は大幅増加

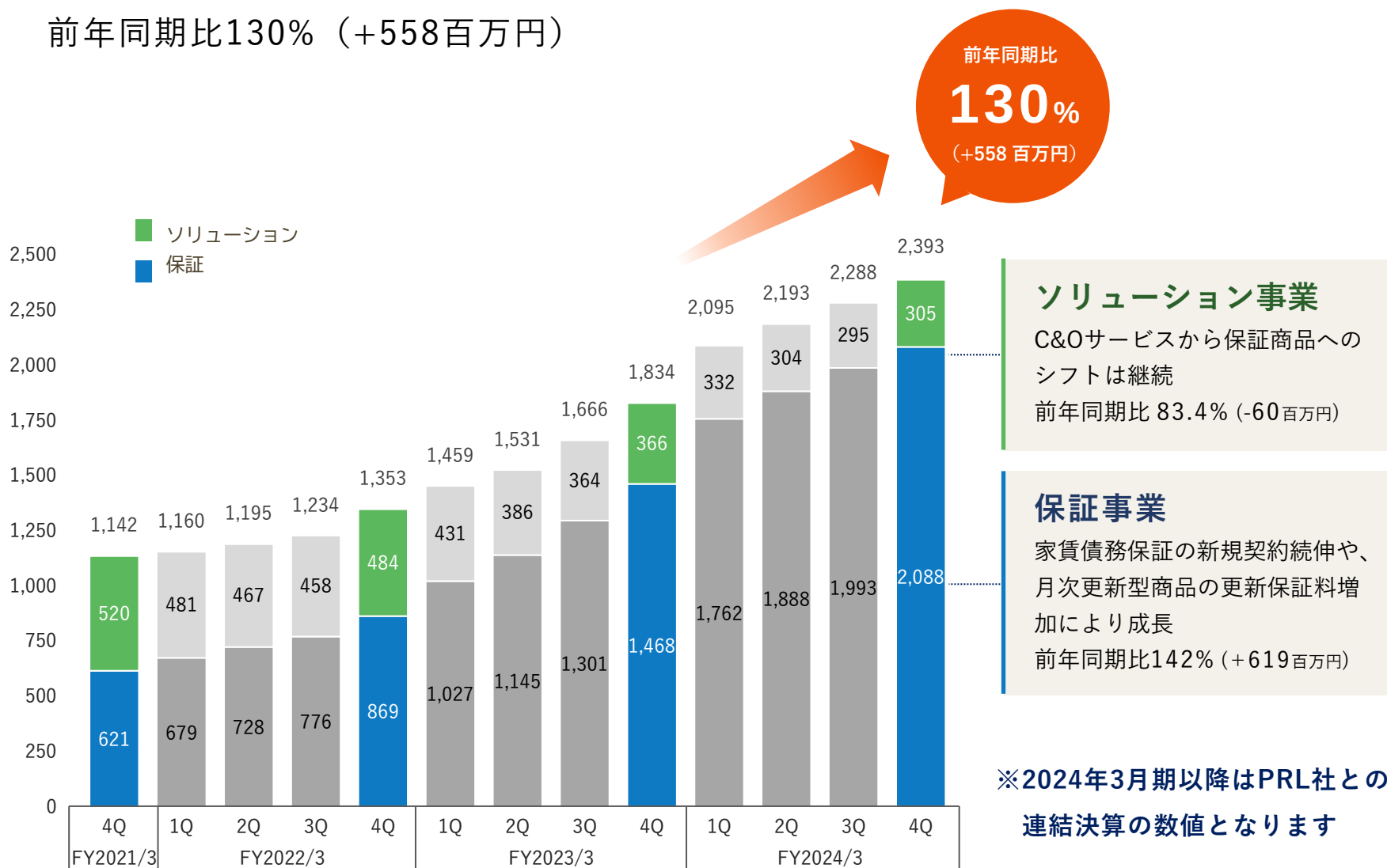
※2024年3月期以降はPRL社との
連結決算の数値となります



売上高の四半期推移

■ 売上は保証事業が牽引、大幅な成長を記録

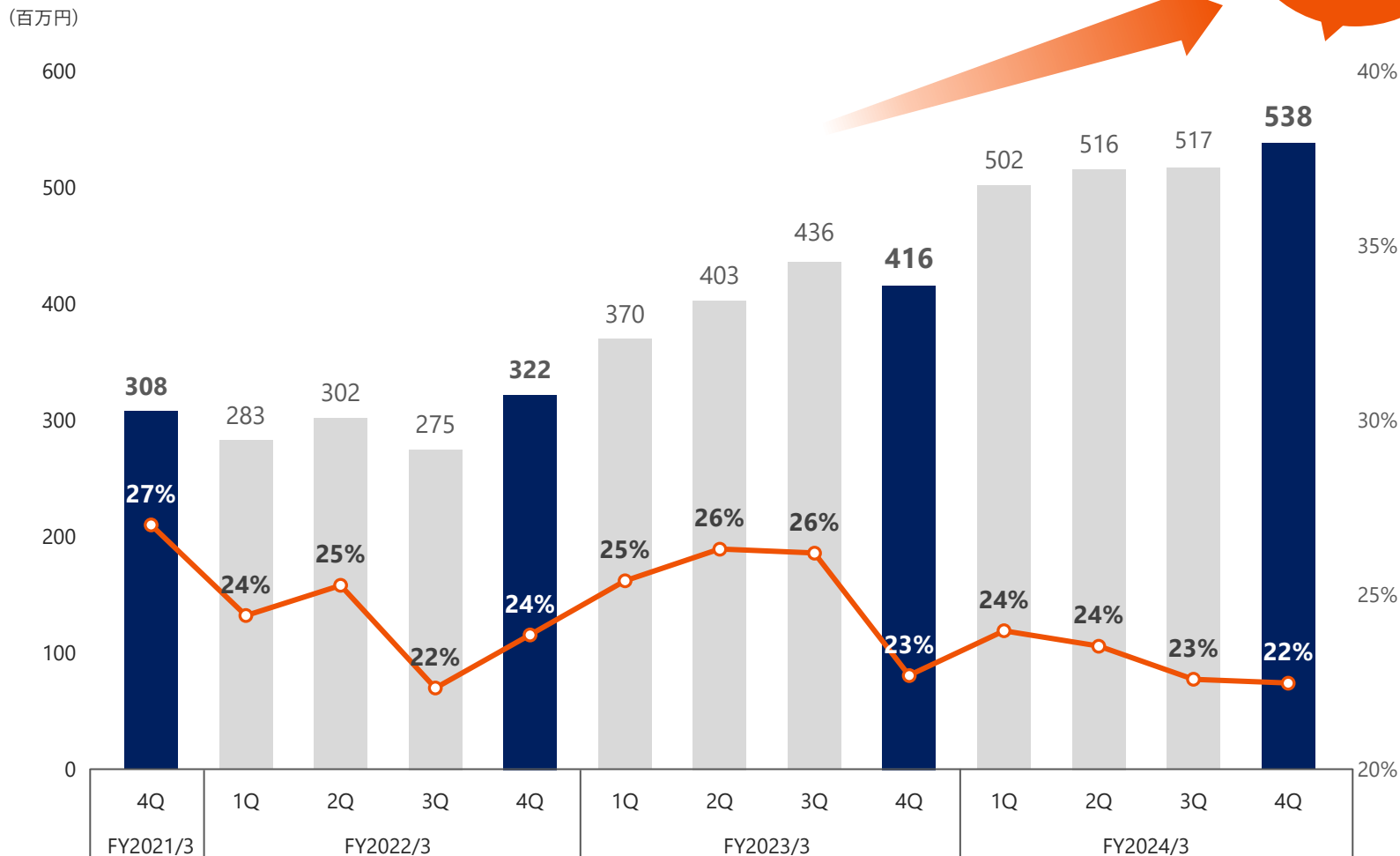
前年同期比130%（+558百万円）



営業利益の四半期推移

- 営業利益額は、前期比129.2%と大幅に増益
- 営業利益率は、業務委託手数料や貸倒費用、人件費の増加により減少するが、23%付近を堅調に推移し好調

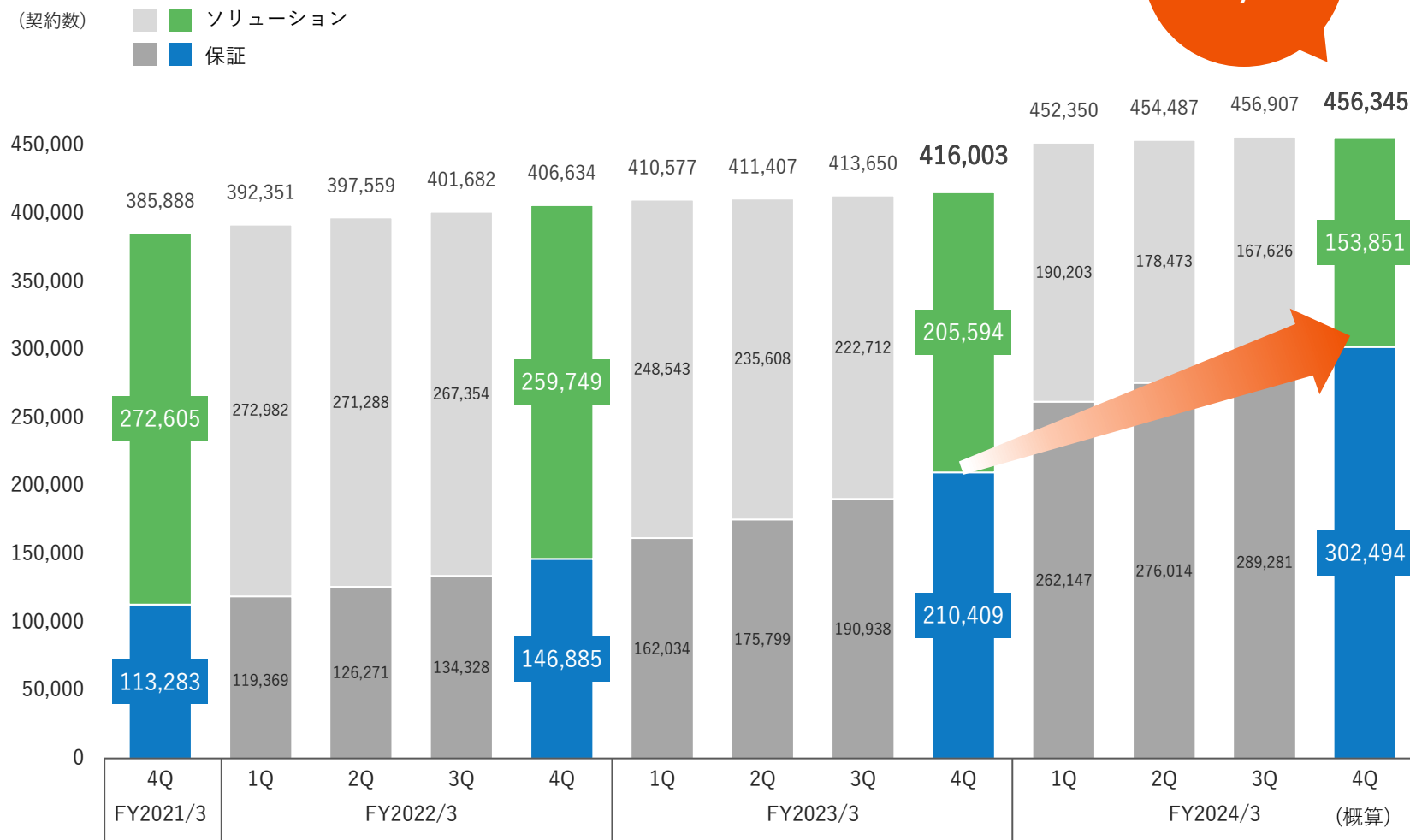
前年同期比
+129.2%



■ 保証分野が成長を牽引

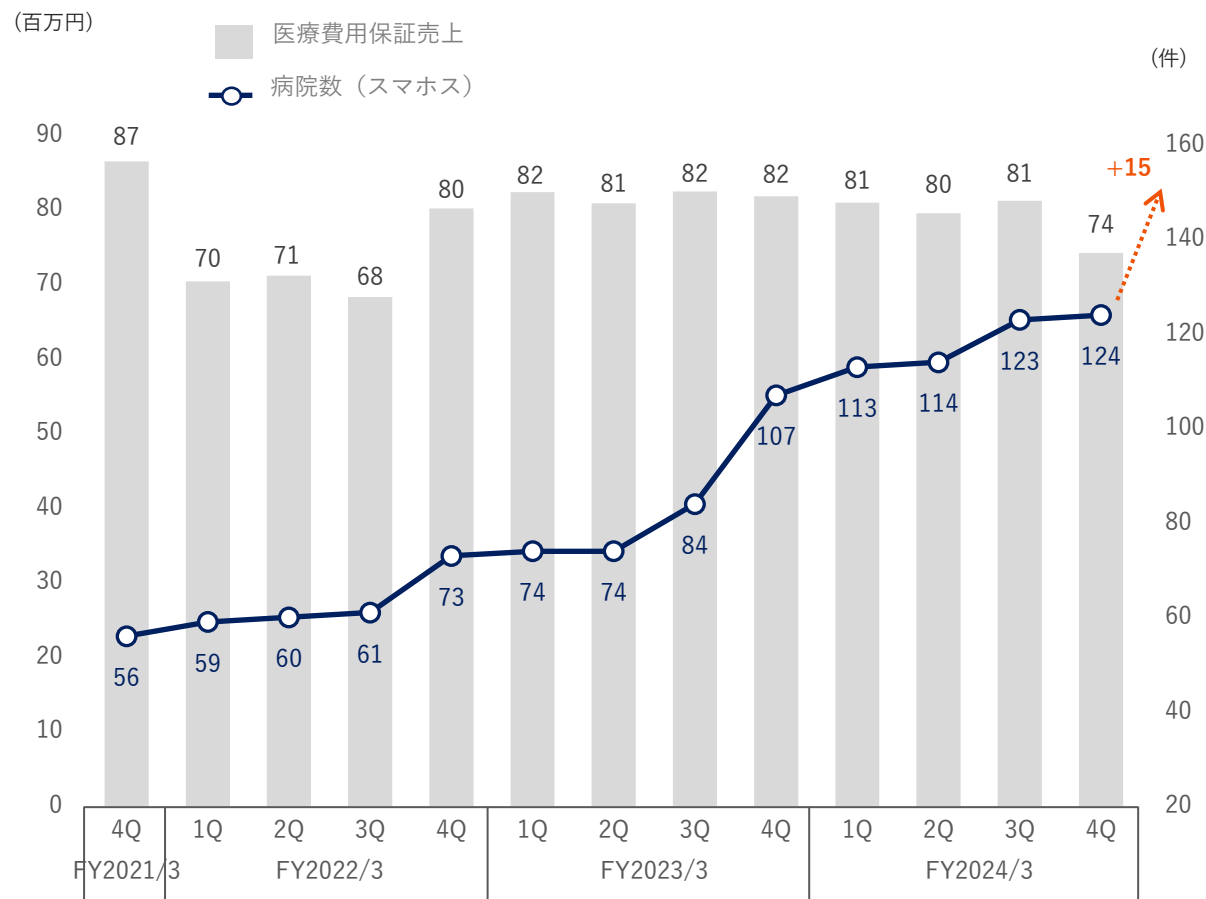
PRL社の子会社化も寄与し、保有件数は着実に積み上がる

前年同期より
+40,342



■ 医療分野 スマホス、拡販のため営業体制の強化を進める

- ・ 保険会社や営業支援会社との協業による営業活動活発化
- ・ 引き続き拡販に向け、営業強化を推進（2024年4月には**15件**成約済み）



● 連帯保証人代行制度 スマホスは続伸

124 医療機関

（前年同期より+17病院）

29,668 病床

（前年同期より+3443床）

● 医療費用保証付き入院 セット及びその他商品

40 医療機関

（前年同期より-32件）

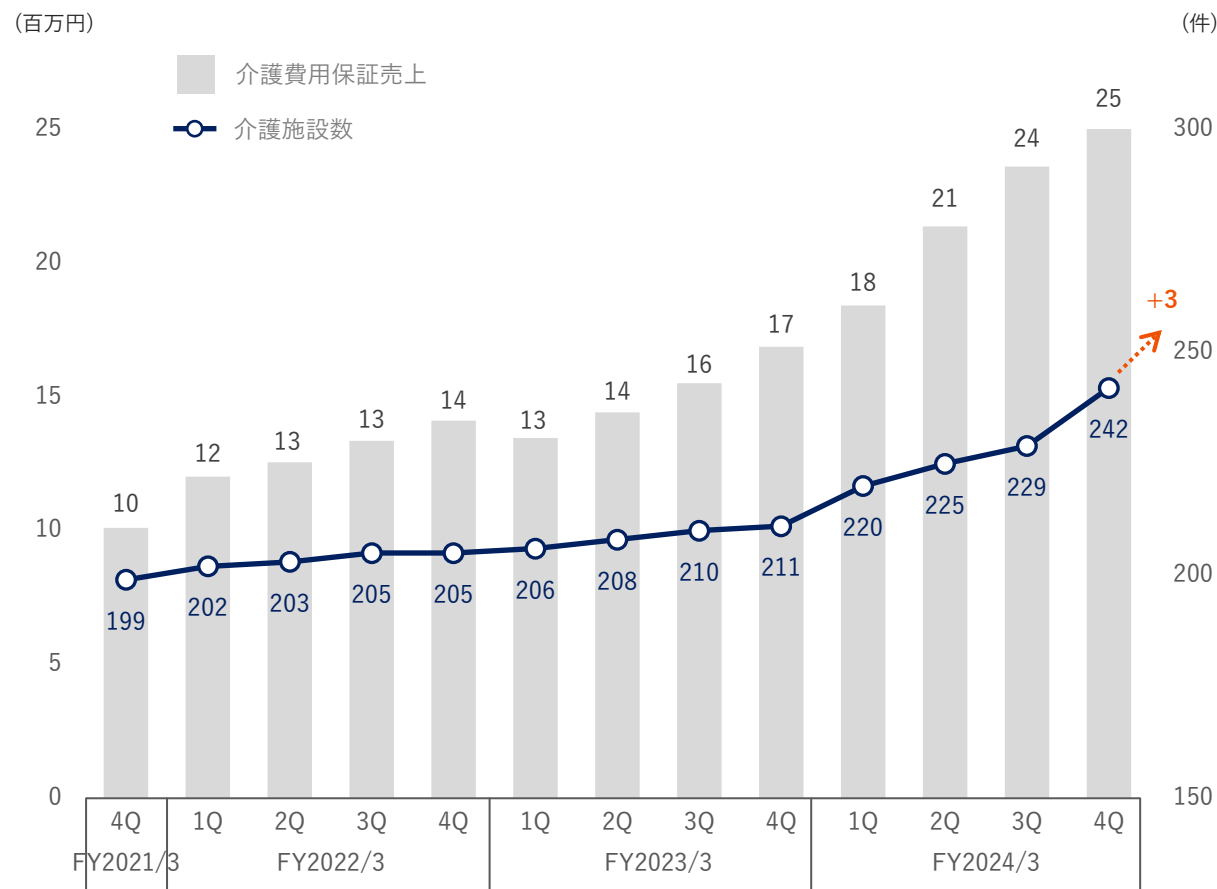
7,243 病床

（前年同期より-6148床）

※収益性が低いため提携・拡販を縮小

■ 介護分野 傷害保険付き介護費用保証が好調

- ・ 2024年3月期で31事業者へ導入完了
- ・ 引き続き拡販に向け、営業強化を推進（2024年4月には3件成約済み）



● 傷害保険付き 介護費用保証が続伸

50 介護事業者

1,538 契約件数

● その他商品

192 介護事業者

5,215 契約件数

※収益性が低いいため拡販を縮小

その他財務データ(貸借対照表)

(百万円)

	2023/3 (前期)	2024/3 (今期)	増減額
流動資産	6,871	8,438	1,567
現金及び預金	5,686	5,663	-23
売掛金	221	211	-10
立替金	1,514	3,824	2,310
その他	459	474	15
貸倒引当金	-1,010	-1,735	-725
固定資産	1,104	1,214	110
有形固定資産	115	160	45
無形固定資産	218	222	4
投資その他の資産	770	831	60
流動負債	2,655	3,393	737
内・前受収益	1,641	1,978	337
内・保証履行引当金	196	477	280
固定負債	110	154	43
純資産	5,209	6,105	895
総資産	7,975	9,653	1,677

昨年度は口振着金スケジュールのイレギュラーにつき立替金が一時的に大幅に減少
今年度より例年水準に戻る

家賃債務保証の新規契約増加に連動し増加

家賃債務保証の新規契約増加に伴い、翌月以降の収益源泉となる前受収益が増加(20%増)

※月次更新型商品の契約件数増加に伴い、
今後は穏やかに伸びる見込み

1

2024年3月期 業績

2

2025年3月期 会社計画

3

会社情報

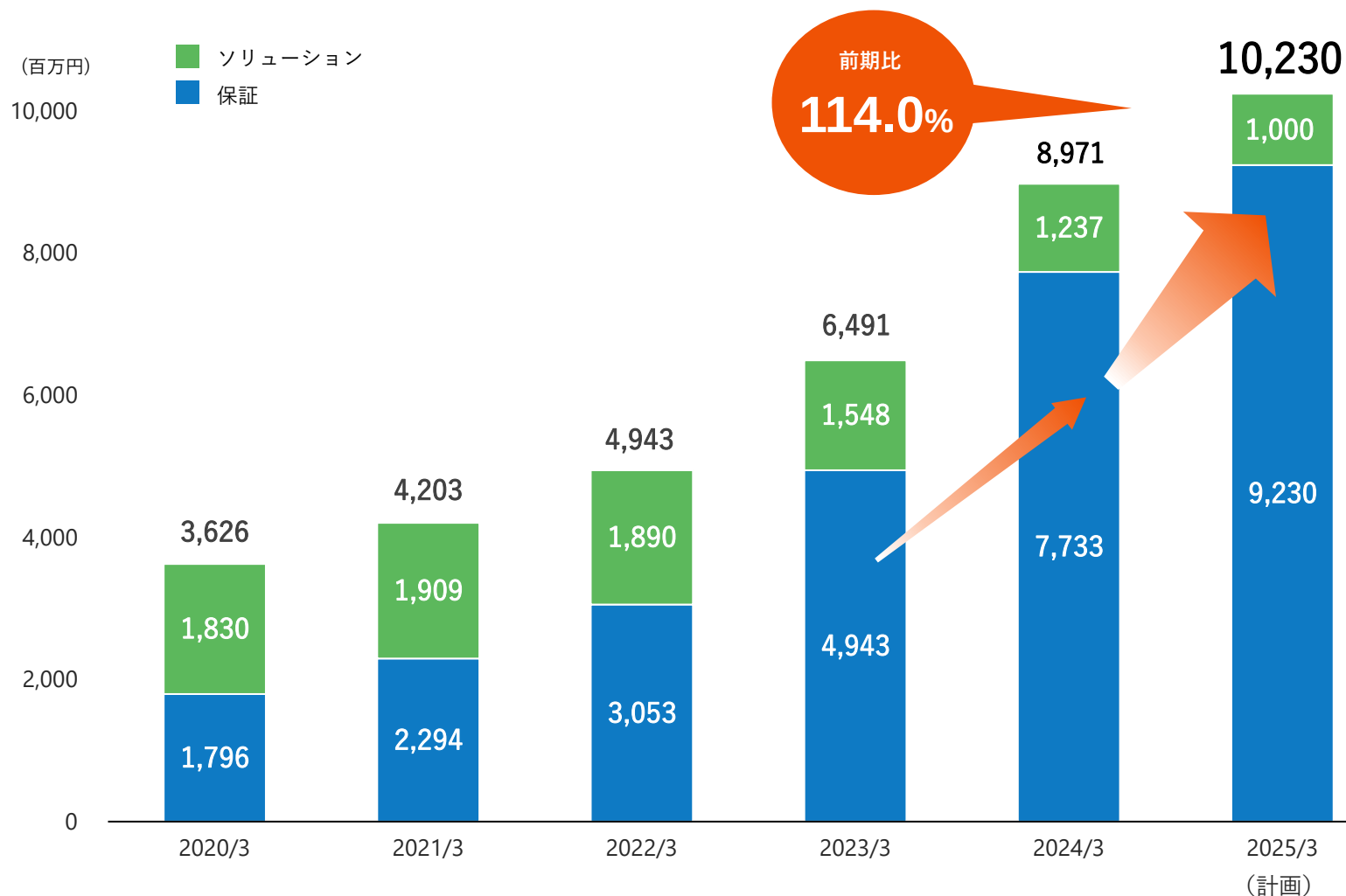
■ 第3次中期経営計画達成に向けて大きく助走 売上高102億円、営業利益23億円の達成を目指す

(百万円)

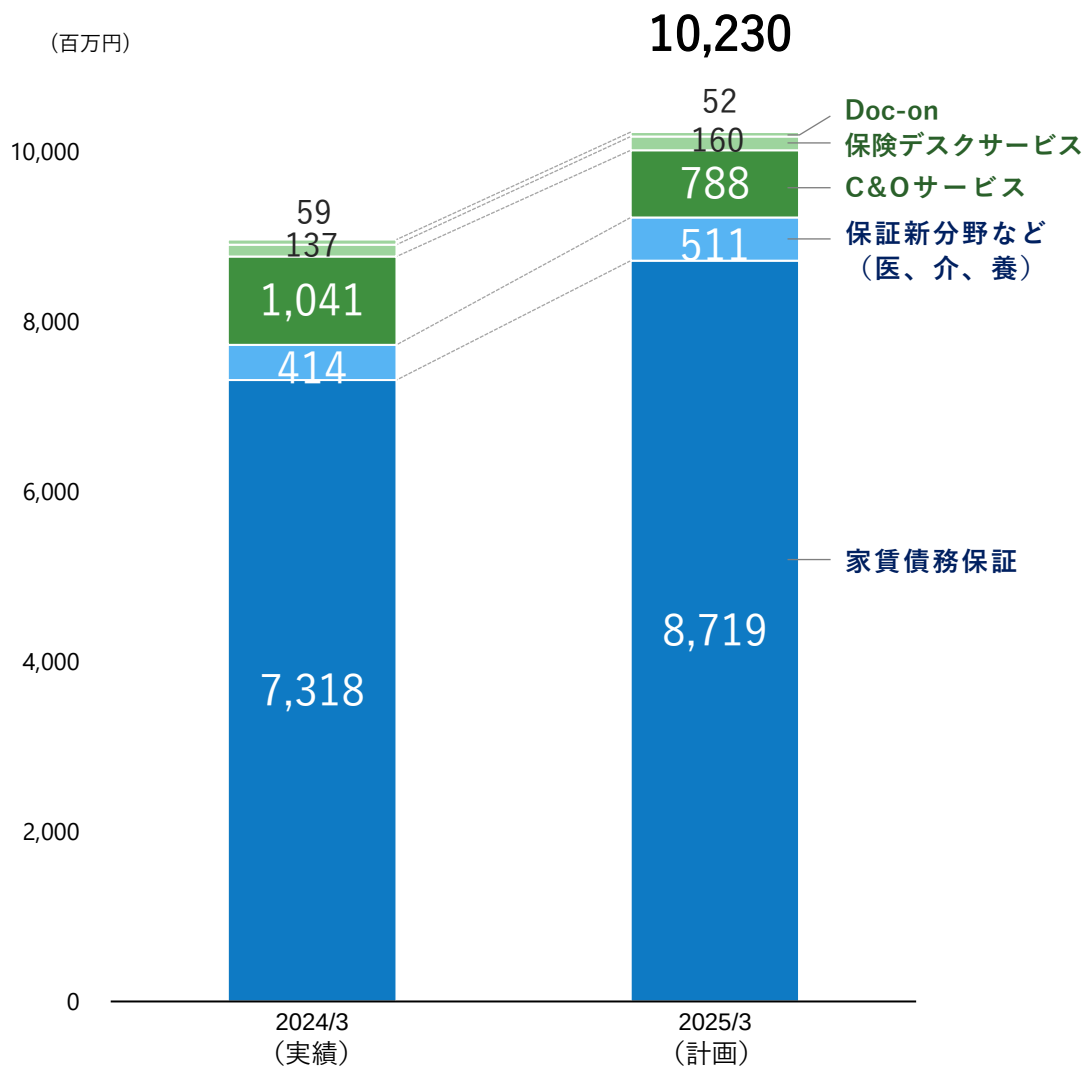
	2024/3 実績	2025/3 計画	前年比	上期計画
売上高	8,971	10,230	114.0%	5,000
営業利益	2,073	2,320	111.9%	1,170
(利益率)	23.1%	22.7%	-	23.4%
経常利益	2,070	2,320	112.0%	1,170
(利益率)	23.1%	22.7%	-	23.4%
純利益	1,227	1,370	111.6%	690
(利益率)	13.7%	13.4%	-	13.8%

売上高の年間推移と計画

- 家賃債務保証は、居住用・事業用商品の拡販を推進し売上の土台作りを
- 医療・介護費用保証は、新規契約のさらなる獲得に向けて営業活動を強化



売上高の年間計画（詳細）



ソリューション事業

Doc-on及び保険デスクサービス

引続き拡販を進める

C&Oサービス

家賃債務保証へのシフト継続により減少

保証事業

家賃債務保証

新規契約の増加トレンドは緩やかに継続
また、保有契約および月次更新型契約の増加により更新保証料大幅増

医療費用保証

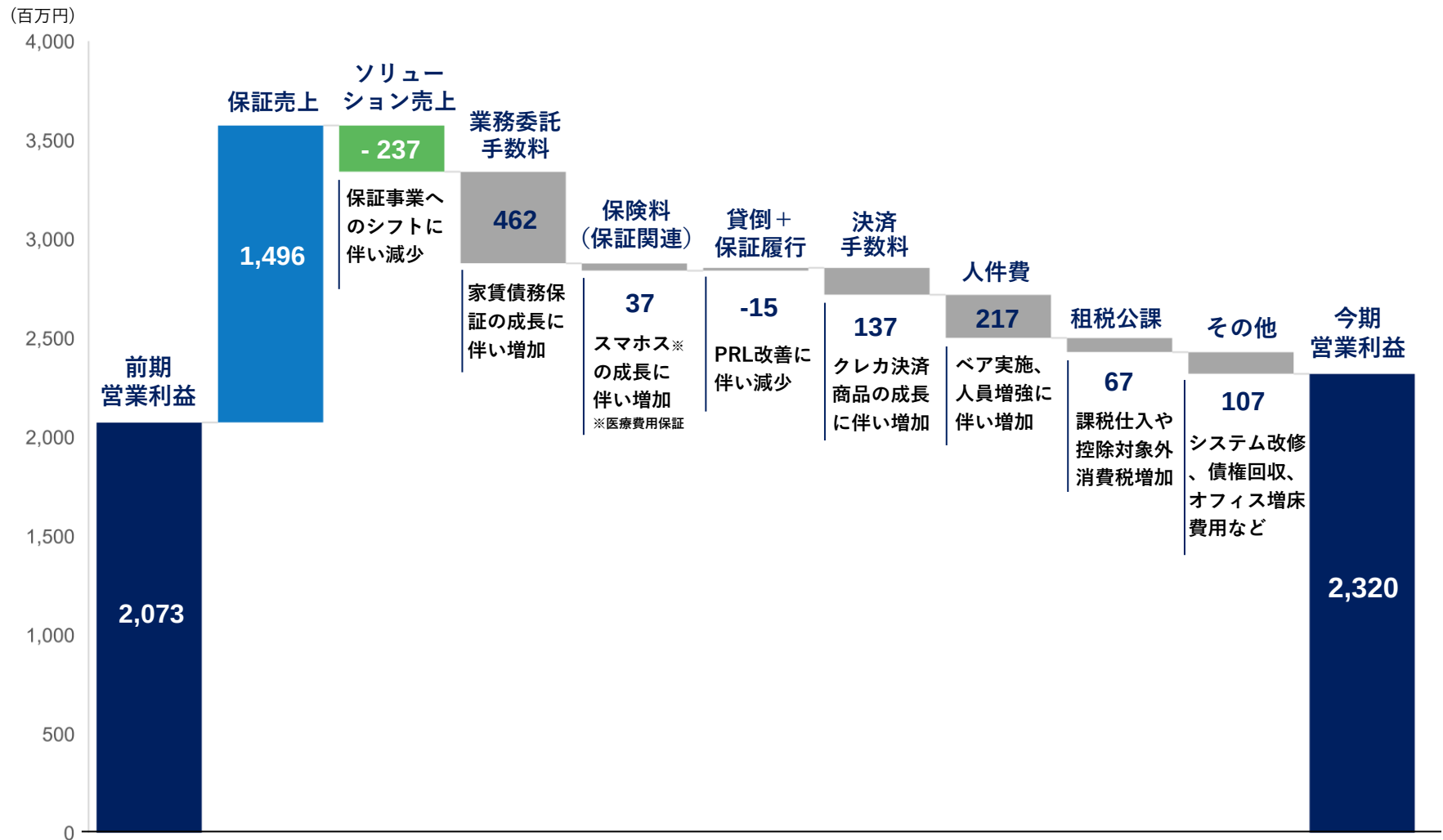
営業体制・商品力の強化により、さらなる拡販を見込む

介護費用保証

傷害保険付き商品の拡販に向け、営業体制の強化

営業利益の増減分析（計画）

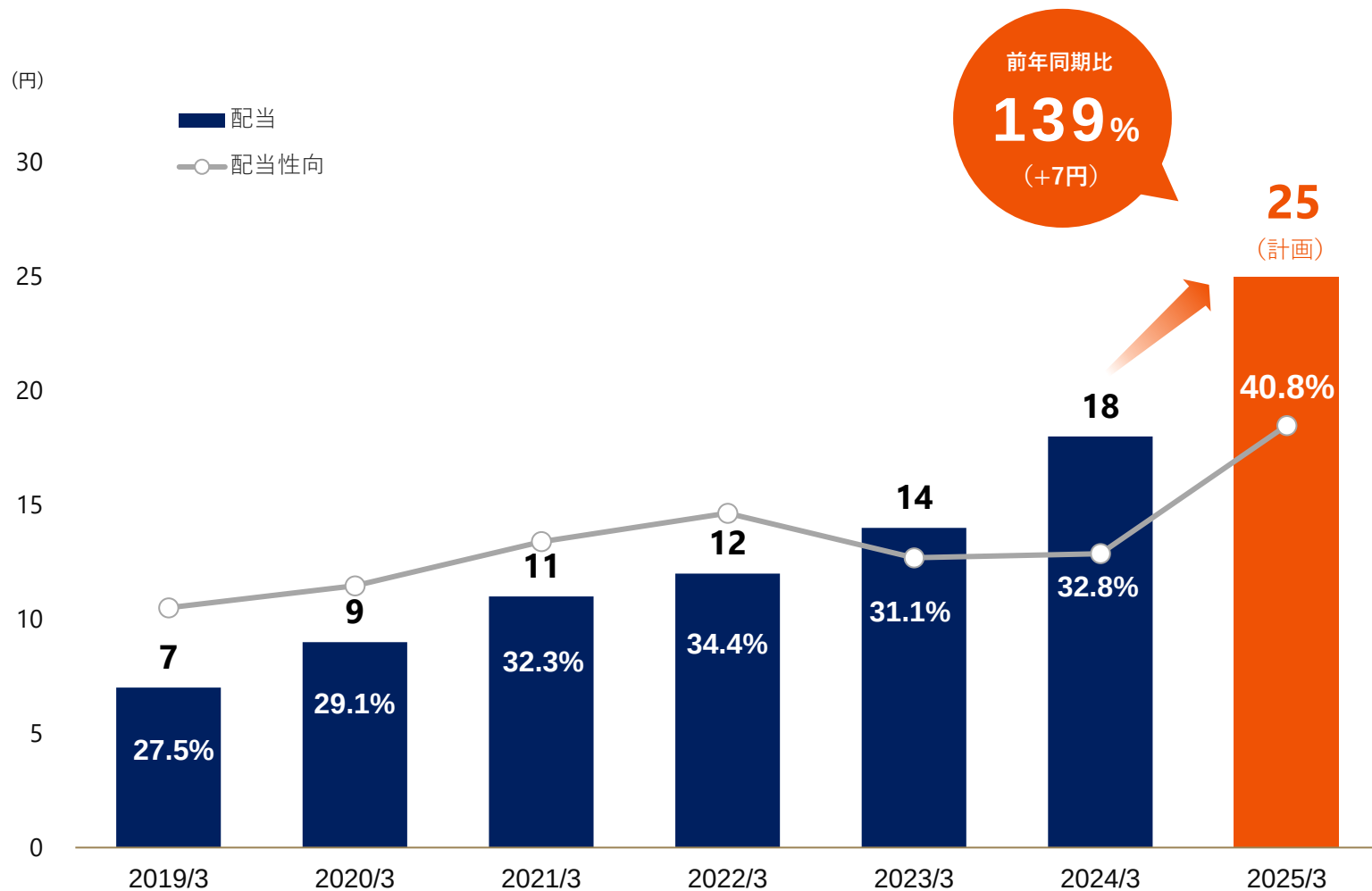
- 保証事業の成長により増収増益を推進
- オフィス増床やベアを実施、費用増加を上回る営業利益額の拡大を計画



配当の年間推移と計画

■ 9期連続増配を計画、さらなる株主還元を推進

- ・ 配当は前期から**7円**増配し、**25円**の配当を計画
- ・ 配当性向**40.8%**を実現する



1

2024年3月期 業績

2

2025年3月期 会社計画

3

会社情報

会社概要 (2024年3月末時点)



会社名	株式会社イントラスト
-----	------------

設立年月日	2006年3月
-------	---------

資本金	10億45百万円
-----	----------

決算期	3月
-----	----

代表取締役	桑原 豊
-------	------

本社所在地	東京都千代田区麹町1-4
-------	--------------

主な拠点	秋田、仙台、富山、大阪、福岡、 東京本社ANNEX 浜松ソリューションセンター
------	--

従業員数	291名(アルバイト・パート含む)
------	-------------------

事業内容	保証事業・ソリューション事業
------	----------------

リスクを引き受ける保証事業とニーズに応えるソリューション事業を展開

保証事業

サービス＋リスクを保証



ソリューション事業

専門的なサービスを提供



家賃債務
保証



医療費用
保証



介護費用
保証



養育費保証

B to B

不動産管理会社／医療機関／介護事業施設等

B to C

個人のお客様



C&O
サービス



保険デスク
サービス



Doc-on
サービス

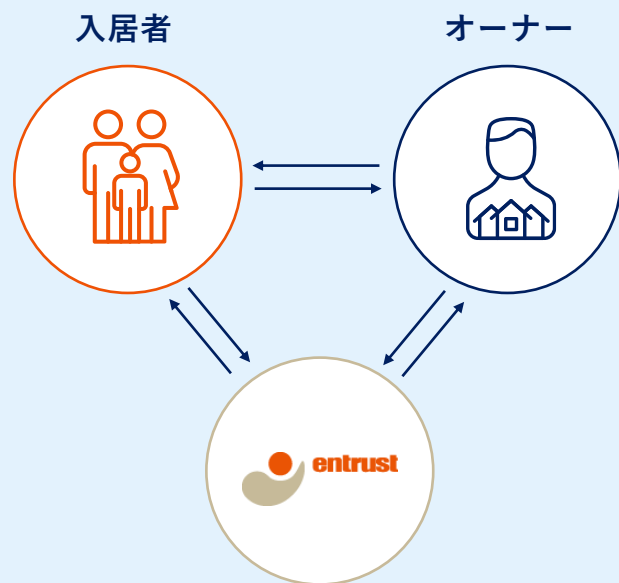
B to B

不動産管理会社 / 保険会社 / 信販会社等

保証事業

債権の滞納リスクを引き受け、保証に係る各種サービスを提供

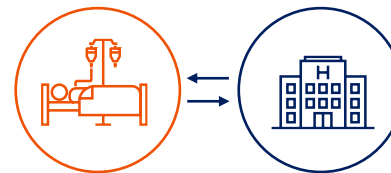
例えば
家賃債務保証



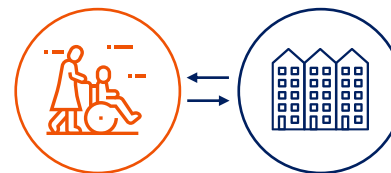
他事業へ
展開



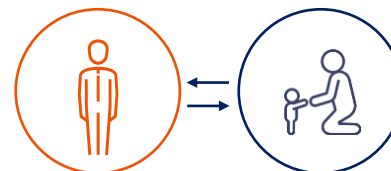
医療



介護



養育費



ソリューション事業

家賃債務保証で培ったノウハウで独自の業務支援サービスを提供



固有の顧客ニーズに対して専門サービスで解決する

これまで地縁・親族で支えていた個人の信用を保証会社が企業として保証する社会へ

これまでの社会

管理会社や病院など



無制限の個人連帯保証を要求

- 実際は連帯保証人から債権を回収できないこともあり、未収金の問題も切実
- 適切な信用力の評価ができず機会損失を生む恐れ

利用者（個人）



以前から難しい保証人の確保

- 自分の病気を知られたくない、人間関係の希薄化など、様々な理由により連帯保証人を用意するのが困難に
- 一方で連帯保証人を引き受けたことで破産するケースも

社会の変容 民法改正

保証の極度額設定が必要に

- 民法改正により個人の連帯保証人に対する事務手間が増加するケースも
- 極度額を超えた部分の債権についてはこれまで以上に回収が困難に

保証人の確保がより困難に

- いざ保証の極度額を提示されると『そんなに払えない』と断られてしまうなど、これまで以上に連帯保証人を頼みにくくなるというケースも

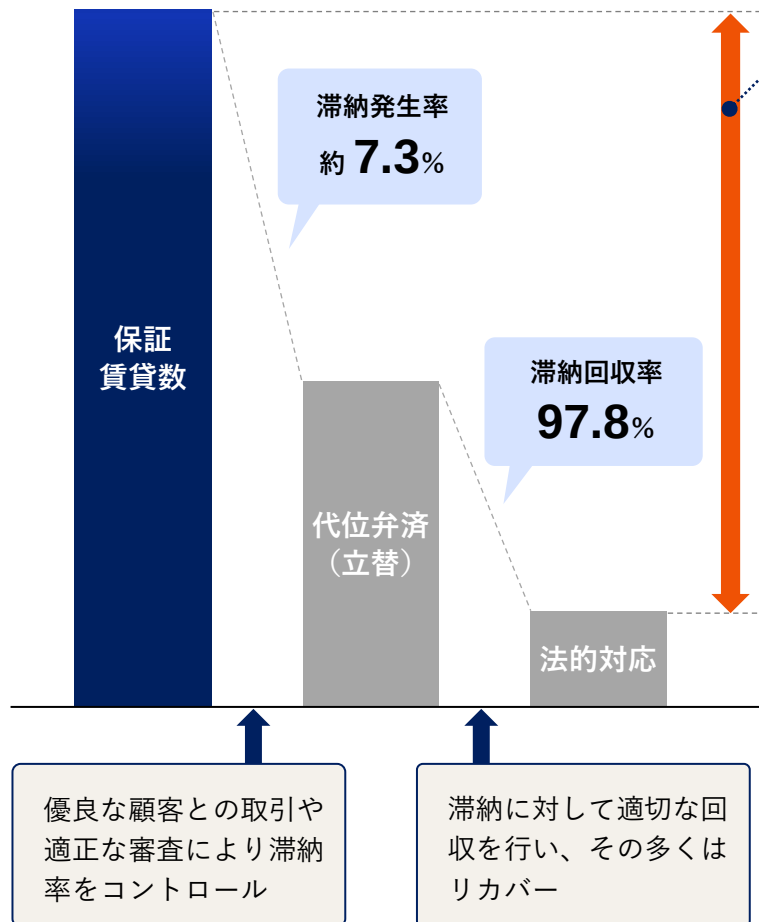
新しい社会

個人の信用力を社会システムで保証 社会全体で貸し手・借り手の非対称性を解消し、あらゆる取引を活性化

- ✓ 保証会社が企業として個人を保証
- ✓ 審査システムによる適正な評価
- ✓ 多数の保証を引受けリスクを分散
- ✓ 信頼を守るための盤石な財務基盤

社会全体の効率性向上

約 **27** 万件



このギャップが利益の源泉

— 利益を生み出す 3つの強み —

評価

- 的確なリスク評価による緻密な運営
- 無理な拡大ではなく、優良な貸主／借り手を選択していくことで、経済性が向上（高利益率）
- 顧客層拡大の好循環が生まれる

回収

- コンプライアンス重視の回収（上場時も厳しく審査され証明）
- 正当な法的処理を着実に実行
- 専門スタッフによる効率的な回収スキームとそれらを支えるIT／インフラ

専門性

- 審査や回収ノウハウ（専門性）の積み上げ
- クライアント（不動産管理会社・病院など）のスタッフを不慣れな業務から解放
- ソリューション提案によるニーズの解決

ニーズの拡大を見せる医療費用保証マーケット

保証事業

大手損保会社との提携により、病院への導入を加速度的に増加させる

病院の平均未収金

約 **450** 万円/年※

※ 当社調べ

ニーズ拡大の外的要因

- ✓ 民法改正
- ✓ 訪日外国人の増加
- ✓ 医療費の窓口負担の増加

医療施設総数

約 **18** 万施設

全国病院数

約 **8,300** 施設

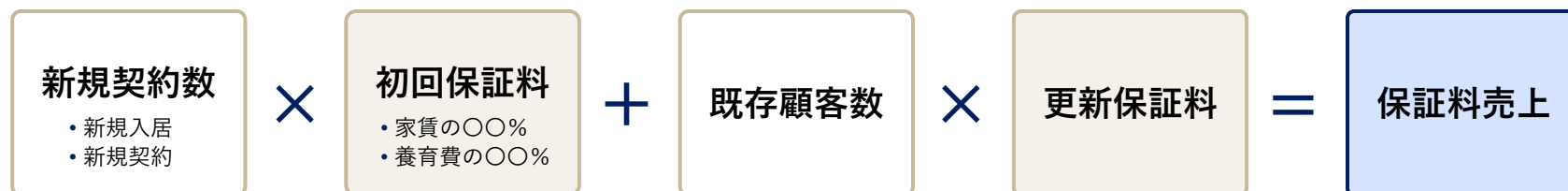
弊社実績

164

イントラストのターゲット

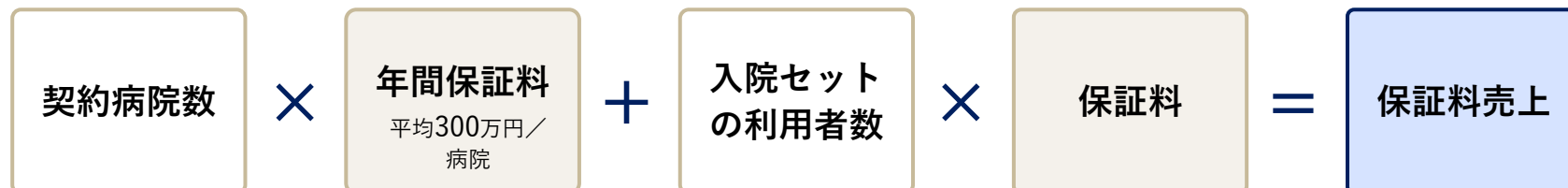
■ 主要KPI

■ 家賃・介護・養育費保証



※ 保証期間で按分計上

■ 医療費用保証

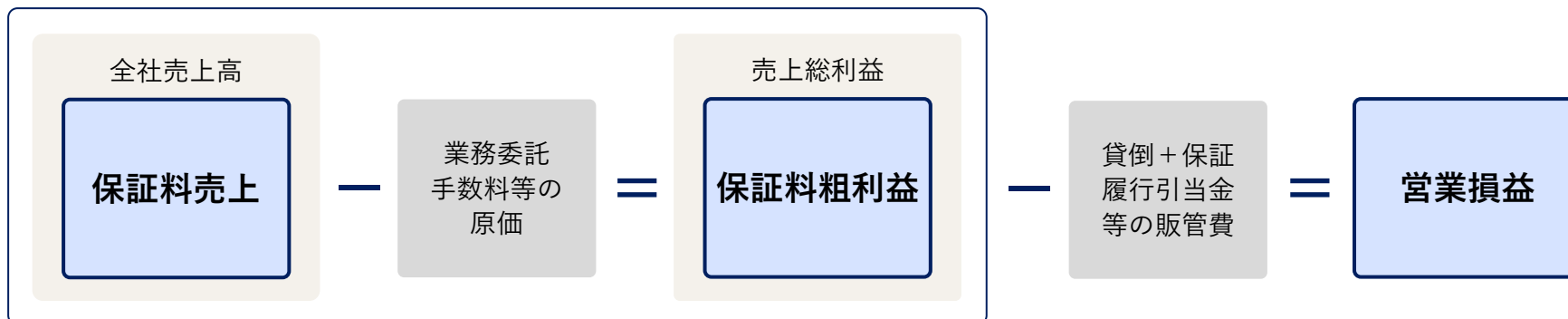


..... スマホス

..... 保証付き入院セット商品

※ 保証期間で按分計上

■ 財務構造



資料中の業績見通しに関する記述は現時点における情報に基づき判断したものであり、実際の業績はさまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等があります。

本資料に関するご意見・ご質問、及びその他IRに関するご意見・ご質問は下記窓口までお問い合わせください。

問合せ窓口：株式会社イントラスト IR

Email : ent-ir@entrust-inc.jp